

会報

つのむれ

会長

得重嘉彦

事務局

久保喜延

080-5262-3497

新春つのむれ登山のご案内

新春つのむれ登山

- ★ 期 日 令和8年1月10日(土)
- ★ 開会式 午前9時30分
(三島グランドにて)
9時20分までに受付をおすまし下さい。

- ★ 登山出発 9時40分

- ★ 閉会式 11時30分頃
(三島グランド)

【賞品等お渡し後】

先着50名に御城印と折り紙をプレゼント
三島鍋の提供

【内容】本丸跡での宝さがし・おらび大会

恒例の「新春つのむれ登山」が一月十日(土)に開催されます。多数のご参加をお待ちしております。

例年行われておりました「わらべサークル」による温かくて美味しい豚汁の三島鍋が再び提供されることになりましたが、餅つきは今年はありませんので、ご理解下さい。

宝探しやおらび大会の賞品と参加賞およびわらべサークルからの先着五〇名への参加賞(オリジナル御城印と折り紙セット)は三島グランドでお渡します。賞品等をお渡ししたあとで、閉会式をしますので、ご協力の程、宜しく願います。

「つのむれクリーン大作戦」

無事終了!!

恒例の表記の行事を、九月七日(日)に天候にも恵まれて多数の参加者を得て開催するこ

とができました。

つのむれクリーン大作戦の趣旨に賛同頂いてご参加頂きましたのは、社会教育課、軒先市、つのむれ神社、森商工青年部、森祇園保存会、つのむれ会などの各団体所属の皆様と自由参加の方々でした。

お陰様で、角牟礼城跡の環境整備が進みました。有難うございました。

また、毎回皆さまが楽しみにされております愛情たっぷり「つのむれ弁当」を作って頂きました「森地区コミュニティ女性部会」の皆様にご心より感謝致します。

今年は異例の暑さのために弁当作りに苦労されましたので、来年からは十月第一日曜日に開催することにしております。次回もご協力の程宜しくお願い致します。

裏ページに研修会の記事があります。是非お読み下さい。

参加者は、日野シゲミ、神崎孝徳、相良尊徳、高倉益雄、小野政太、志津里明、阿部玲子、野北和子、横山弘康、藤野哲郎、園田佳太、得重嘉彦、野北一男、久保喜延、役場の宝珠さんでした。以下は、この度の研修会場所の臼杵の歴史を調べて下さいました野北一男様にお寄せ頂きました紀行文です

「臼杵城跡と城下の街並みを訪ねて」

十月十四日の夏日、角牟礼城跡と同じ国指定の史跡かつ続日本百名城認定の臼杵城と城下町並みの探索に我が会のオールキャストが参加しました。

臼杵までの車中は予習時間です。臼杵城の前身は臼杵湾にぽっかり浮かぶ、丹生島（にゅうじま）に大友宗麟が府内城から移り住んで築いた海城であったこと。大友氏の滅亡

後太田氏が入封して高石垣と瓦葺きの櫓を持つ織豊系の城郭化と共に島の西岸を埋め立てて三の丸を増築したこと。太田氏の後に岐阜郡上八幡から稲葉氏が海部大野大分三郡五万石で入封、三の丸の埋め立て拡張等の修築を行い、270年間の稲葉氏時代が廃藩置県で終わったこと。明治期に島周辺全部が埋め立てられ現在に至ったこと。等を頭に入れつつ交流センターに到着しました。

気力体力ともフル充電のメンバーは、プロの女性ガイドを先頭に大友宗麟によって作られたといわれる商店街や城下町の面影を残す仁王座歴史の道へと歩を進めますが、この日も夏日の気温上昇で日陰を探しての散策となりました。体力バッテリーが徐々に消耗する中、名調子のガイドに乗せられて入った小さなお店は、即貸し切り状態、店主の電卓

による会計もゆつくりのんびりで昭和に戻ったようでした。市内で気づいたことは昔ながらの小さなお店が情緒豊かに共存していることです。三の丸付近が埋め立てられた狭い土地ゆえか大型施設店が目立たないこともシャッター通りにならない一因だろうかと思いました。

既に時間は十二時、食事タイムは体力回復はもとより各々好きな水分を十分に補給して熱中症対策に備え、午後臼杵城探索に向かいました。臼杵城では予習した城の知識を現地で確認、夏日の暑さに歯向かいながらの探索も終わり、クーラーの効いたバスにて最終目的地の摩崖仏「大日如来像」を拝観し、今年の研修旅行も無事に終わりました。みなさんお疲れ様でした。

（野北一男さん筆）



大日如来像前での記念写真